

## 子どもと「ことば」

朝晩は少し肌寒くなり、神石の山々も美しく紅葉する時期となってきました。そして、一日一日、日がどんどん短くなるのを感じられるようになってきました。そのような中、子ども達の、外でボール遊びをしたり、秋の虫探しをしたりする姿が見受けられます。こんな姿は、今も昔も変わらない姿で、友達同士で遊ぶことを通して社会性を身に付けたり、自然と触れ合うことで虫と植物の関係性を見つけたり、命の大切さを感じたりするものだと思います、よい体験をしているなあと思って見ています。

さて、今年度、神石小学校では、子どもと「ことば」の関係について調べました。すると、例えば、10月15日の「1週間前は何月何日ですか？」と、カレンダーの中に丸を付ける問いでは、10月7日に丸を付けている子どもが何人かいました。「1週間前」を「1週間と1日前」と間違っているのですね。同じように「1週間後は？」という問いに対しては、10月23日とする間違いが見受けられました。学校ではこれらの結果を踏まえ、日ごろからカレンダーを見るという行為を通して、「1週間前は……」とか、「1週間後は……」と、子ども達と生活の中での具体的な話をしていく必要性を考えさせられたところです。実際には、教室の中のカレンダーは教室の前や後ろの扉のところに掲示して活用していますが、それだけでよいのか考えているところです。

はじめに述べましたように、秋はどんどん深まり、夜の時間がとても長くなってきています。お家で過ごす時間も増えてきていると思います。ぜひ、家族で「ことば」を使った会話を増やしていただきたいと思います。時にはカレンダーを見ての話もよいでしょうし、それ以外の話で花を咲かされてもよいと思います。

ある書物に、子ども達の会話の中に出てくる「ことば」の中に「擬音語」や「擬態語」が非常に多くなってきているという研究も載せられていました。子どもが話す言葉を大人が「ものわがりのよい聞き方」をしているのではないかとともに述べられていました。一方、宮沢賢治も「風の又三郎」の中で、「どっどど どどうど どどうど どどう」と記述しているように、表現の仕方によっては、とても効果のあるものです。

大人との会話の一つ一つで、もしかしたら子どもにとっては、はじめて聞く「ことば」を発見するかもしれません。また、意味を勘違いして覚えていた「ことば」を正しい意味はこうなんだと修正する時間になるかもしれません。ぜひ、子ども達の「ことば(語彙)」を増やし、正しく習得・表現するためにも学校・家庭・地域で会話を増やすようご協力ください。そのような意味では、親子での読書もとてもよい時間だと思います。あわせてよろしくお願いいたします。

校長 田 丸 栄